

ATC 活動の概要

ISOE（職業被ばく情報システム）は、電力事業者および規制機関のために作業者の被ばく低減および原子力発電所の放射線防護対策の改善に有益な情報を交換する場として1992年に発足したものである。ISOEはOECD/NEAのプロジェクトの一部として活動しており、IAEAが協賛している。

日本はISOE設立の1992年4月にISOEに参加し、これに伴ってATC（アジア技術センター）が設立された。1996年には韓国がISOEに参加し、以降ATCは日韓の2か国で構成されている。

ATCの設立当初はNUPEC（後のJNES）内に事務局が置かれていたが、JNESが規制庁に統合されて規制機関となったため、ATCの運営は、独立した非営利組織である原安協に2014年に移管された。

今回の発表では、ISOEデータベースの運営、ISOEネットワークを通しての情報交換、ALARAシンポジウムの運営等、ATCの活動の概要について紹介する。